

平成29年度岩手県芸術選奨及び岩手県美術選奨受賞者の決定について

平成29年度に優れた芸術活動及び美術活動を行った本県在住者等を表彰する平成29年度岩手県芸術選奨及び岩手県美術選奨の受賞者が決定しましたのでお知らせします。
なお、表彰式は、8月30日（木）11時30分からサンセール盛岡で開催します。

1 岩手県芸術選奨及び岩手県美術選奨の概要

- (1) 県内で行われる文化芸術活動を奨励し、その振興と水準向上を図るため、当該年度に優れた芸術活動及び美術活動を行った本県在住者等を対象に表彰。
- (2) 昨年度から、文化芸術振興施策の一層の推進を図るため、知事表彰としたところ。

2 平成29年度受賞者

(1) 岩手県芸術選奨（4名）

氏名	年齢	居住地	分野	作品名
斎藤 駿一郎	85	北上市	詩	「斎藤 駿一郎詩集 命のみまもり」
立川 ゆかり	60	花巻市	評伝	「夢をのみ 日本SFの金字塔・光瀬龍」
道又 力	57	盛岡市	評論	「明治 大正 昭和 平成 文學の國いわて 輝ける郷土の作家たち」
吉丸 蓉子	74	盛岡市	評論	『「赤い経巻」とは何か 宮沢賢治と法華経』

(2) 岩手県美術選奨（5名）

氏名	年齢	居住地	分野	対象となる主な活動
伊藤 由美子	30	盛岡市	版画	個展「伊藤由美子作品展」（盛久ギャラリー） 平成29年6月～7月
神尾 裕	62	静岡県 沼津市 (盛岡市出身)	洋画	企画展「神尾裕展～師・吉田清志の作品と共に～」 (岩手町立石神の丘美術館) 平成29年8月～9月
柴田 有理	37	盛岡市	絵画 現代 美術	個展「もつれて立つ人」（ギャラリー彩園子Ⅱ） 平成29年5月～6月 公募展「ミニアチュール zero 2017」（彩雅堂） 平成29年7月
菅原 睦	37	一関市	彫刻	第43回盛岡彫刻シンポジウム企画展「菅原睦彫刻展」 (ギャラリー彩園子Ⅰ) 平成29年7月
高橋 諒	27	山形市 (花巻市出身)	日本画	公募展「第17回佐藤太清賞公募美術展」 平成29年12月～平成30年1月

※ 五十音順。年齢は平成30年8月10日現在。

3 表彰式

(1) 日時

平成30年8月30日（木） 11時30分から12時まで

(2) 場所

サンセール盛岡 1階「エメラルド」（盛岡市志家町1-10）

(3) 出席者

受賞者、選考委員会委員長（芸術選奨：赤澤義昭氏（近代文学研究家）、美術選奨：中村光紀氏（萬鉄五郎記念美術館館長））、県（知事、文化スポーツ部長ほか）

(資料1)

1 平成29年度岩手県芸術選奨選評

氏名	分野	作品名 (発行所)	選評
さいとう 齋藤 駿一郎	詩	「齋藤 駿一郎詩集 命の みまもり」 (サンプリント)	目の前の老いや死に向き合いつつ、方言を生かす ことで魂に訴えかける詩の内容が素晴らしい。高木 恭造の「まるめろ」を彷彿とさせる内容だ。
たちかわ 立川 ゆかり	評伝	「夢をのみ 日本SFの金 字塔・光瀬龍」 (ツーワンライフ)	11年もの間にわたる著者と光瀬を取り巻く人々 との交流が、評伝の細部にまで生かされている。著 者の光瀬への情熱が全編を通じて伝わる作品。
みちまた 道又 つとむ 力	評論	「明治 大正 昭和 平成 文学の國いわて 輝ける郷 土の作家たち」 (岩手日報社)	岩手の文学通史を一人で書き上げた労作。「岩手 の文学の源泉はどこにあるのか」「なぜ多くの作家 が岩手で誕生したのか」を考えさせられる。まさに 形のない「岩手の文学館」である。
よしまる 吉丸 ようこ 蓉子	評論	『「赤い経巻」とは何か 宮 沢賢治と法華経』 (セーコー印刷)	法華経を通じて、「幸福とは何か」を追い求める 賢治のテーマが丁寧に書かれている。著者の情熱が あふれる作品。

2 平成29年度岩手県美術選奨選評

氏名	分野	対象となる主な活動	選評
いとう 伊藤 ゆみこ 由美子	版画	個展「伊藤由美子作品展」 (盛久ギャラリー) 平成29年6月～7月	自然や日々の人間の感情など流動的なものがテ ーマに据えられている。淡い色を重ねることで、見 る人が作品に入り込みやすく、一つの世界を作り上 げている。
かみお 神尾 ゆたか 裕	洋画	企画展「神尾裕展～師・吉 田清志の作品と共に～」 (岩手町立石神の丘美術 館) 平成29年8月～9月	焦点が花に当てられた作品が明快でダイナミック。 鑑賞者にインパクトを与える。完成された仕事 で、作家の力量を遺憾なく感じさせる。
しばた 柴田 あり 有理	絵画 現代 美術	個展「もつれて立つ人」 (ギャラリー彩園子Ⅱ) 平成29年5月～6月 公募展「ミニアチュールz ero 2017」(彩雅堂) 平成29年7月	作品の根底に作家の自画像を感じる。コンプレッ クス、悩み、周囲と折り合えないぎこちなさが、ユニ ークな表現となって現れている。小説でいえば、私 小説の感がある。
すがわら 菅原 むつみ 睦	彫刻	第43回盛岡彫刻シンポジウ ム企画展「菅原睦彫刻展」 (ギャラリー彩園子Ⅰ) 平成29年7月	ユーモアがあり、見る人に石彫の可能性を感じさ せる。素材となる金属や石を組み合わせる自分のイ メージを広げていくという地道な制作態度に共感 を覚える。
たかはし 高橋 まこと 諒	日本 画	公募展「第17回佐藤太清賞 公募美術展」 平成29年12月～平成30年1 月	若いテクニックがしっかりしており、見応えが ある。人間に対するアプローチがストレートに描か れていて健康的。まじめに人間にぶつかっている作 家の姿勢が感じられる。